



KAWAI MUTE RAIL

KAWAIの新しいタイプ (KS-F以降) の124cm,125cm,127cm,132cmのアクションへのストッパー取付けの一例です。KS2FやBS20、BS2A、US60等の機種が該当します。BL12,31,51,61,71などには、説明文にある補助プレートは必要ありません。また、KU1,KU2など旧型KUモデルはストッパーの切り込み位置が変わりますのでSTANDARDストッパーを加工してください。
CITY LIFEタイプやHA20等のアクションもまた違った形になります。

[取付け写真集のトップへ](#)[マジックスタートップへ](#)[▶ スライドショーを再生](#)[登録](#)

KS2F,KS3F,BS20,BS30,
BL12,31,51など
124cm、125cm、127cm
のピアノ用です。



US50,US63H,KS5F,BS40や
BL61,BL71など
132cmのピアノ用です。



ミドルエンド部のダンパースク
リューが干渉しないように、
あらかじめ切り抜いてあります。



補助プレートにてストッパーを
若干低い目に取付けます。
BLシリーズは必要ありません。



低音部のダンパーレールを外し
た後です。



専用ネジにてプレートを取付け
ます。





中央部のダンパーレールを外した後です。写真を見易くするため便宜上ダンパーを3つはずしましたが、通常はそのまま作業します。



中音部はプレートを少し斜めに付けました。125タイプで27Bのダンパーワイヤーを避けるためです。



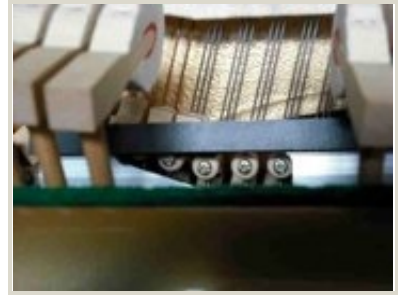
補助プレートへユニブラケットを固定しました。譜面台がグランドタイプはブラケットとアームを一段奥に寄せてください。



中音部を固定します。



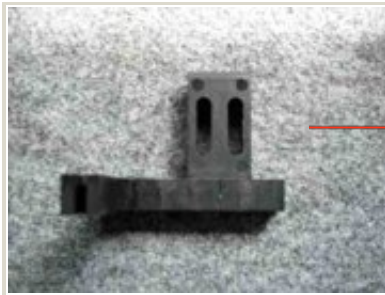
きれいに付きました。



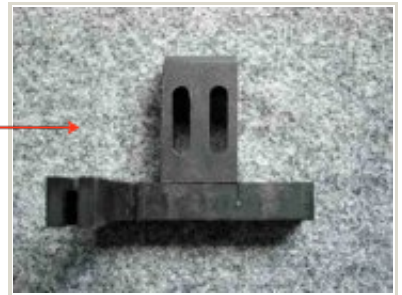
写真を見易くするために便宜上ハンマーをはずしましたが、通常はそのままです。



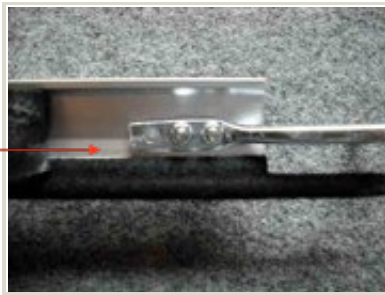
これで余分な細工なしでダンパーがスッキリと上がるようになりました。



BL71, US50, US63Hなどのグランドタイプ譜面台の機種に取付ける時はユニブラケットのストッパーが入る部分の位置を変更します。



BL71, US50, US63Hなどのグランドタイプ譜面台の機種に取付ける時はストッパーアームの位置も変更します。



これでウデ木に干渉しない位置へきれいに収まります。



次高音部のY字形の金具をはずし、ダンパーフレンジガイドをヤスリでけずります。



付属のLブラケットに交換します。



次高音部はこの金具にストッパーを固定します。

カワイの比較的新しいモデルに消音ストッパーを取付ける際に問題点となるのが、消音演奏時には問題ないが、アコースティック演奏時に中音ミドルエンド部のダンパーが十分に上がらないことがあります。専用ストッパーと補助プレートを使用し、ストッパーを少し低く取付けることにより、完全なダンパーの働きを確保することが可能になりました。

くれぐれもダンパーの働きを十分に確保しないままの取付けには注意しましょう。放置することはすなわち、アコースティック演奏に異常をきたしていることに他ならないのです。

[取付け写真集のトップへ](#)

[マジックスタートップへ](#)